

# 令和5年度 入学者選抜要項

島根県立大学

島根県立大学短期大学部

別科助産学専攻

この入学者選抜要項は、令和4年6月末現在の状況で作成したものです。  
これ以降の情報については、本学公式ホームページ及び学生募集要項で  
ご確認ください。

# I 募集人員

(単位：人)

地域政策学部 地域政策学科	募集人員 計	募集人員				
		一般選抜		学校推薦型選抜		総合型選抜
		前期日程	後期日程	一般推薦	連携校推薦	自己推薦
地域経済経営コース	45	20	5	10	-	10
地域公共コース	45	25	10	10	-	-
地域づくりコース	50	15	5	-	20	10

# II 入学者選抜試験実施内容

## 1 一般選抜（前期日程・後期日程）

### 1. 募集人員

地域経済経営コース	前期日程	20名
	後期日程	5名
	計	25名
地域公共コース	前期日程	25名
	後期日程	10名
	計	35名
地域づくりコース	前期日程	15名
	後期日程	5名
	計	20名

### 2. 出願資格

本学に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、令和5年度大学入学共通テストで本学の指定する教科・科目を受験している者としてします。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行いますので、次の区分により、入学資格認定申請書を提出してください。

- ① 大学入学共通テストの出願受付前に入学資格認定書の交付を受けようとする場合  
令和4年8月26日（金）まで（締切日必着）
- ② ①以外の場合  
令和5年1月13日（金）まで（締切日必着）

### 3. 選抜方法

#### 地域経済経営コース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち15名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。  
(1次選考)次に残りの合格者として想定する者の2倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2次選考) ※詳細はP55を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験(面接)の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験(面接)のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和5年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考	
前期日程	国語	から 2科目	・100点満点に換算	
	地理歴史から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」)		4教科 4科目 (注1)	・3科目以上受験した場合は、 高得点の2科目を合否判定に利用(注2)
	公民から1科目(「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)			
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)			
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算		
後期日程	国語	から 1科目	・100点満点に換算	
	地理歴史・公民から1科目(「世界史A」、 「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		3教科 3科目 (注1)	・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)			
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算		

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和5年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史及び公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、次頁の扱いのとおりとします。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	○地理歴史から1科目及び公民から1科目の2科目を受験している場合、当該科目については第1、2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。 ○上記以外 第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
	<理 科②>	第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科②>	第1解答科目のみを最高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)

## (2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2次選考対象者のみ書類審査(調査書及び活動報告書)により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
後期日程	面接により、地域経済経営コースにおいて主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書を活用します。

## (3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

試験区分 教科等 選抜区分	大学入学共通テスト						個別試験	合計
	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語※		
前期日程 (1次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400点
	配点 400点							
前期日程 (2次選考)	100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420点
	配点 400点						配点 20点	
後期日程	100	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	500点
	配点 300点						配点 200点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から2科目、[ ] は、1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## (4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、高等学校が作成する書類(調査書)と、志願者本人が作成する書類(活動報告書)の両方によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。(調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。)活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は2次選考対象者のみとします。(活動報告書の提出がない場合、2次選考における書類審査での加点は行いません。)

活動例を次頁に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組」  
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」  
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」  
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」  
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」  
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

P55「地域政策学部各コース共通」へ続く

## 地域公共コース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち 20 名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。  
(1次選考)次に残りの合格者として想定する者の2倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2次選考) ※詳細は P55 を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験(面接)の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験(面接)のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和5年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
前期日程	国語	から 2科目	・100点満点に換算
	地理歴史から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」)		・3科目以上受験した場合は、 高得点の2科目を合否判定に利用(注2)
	公民から1科目(「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)		
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)		
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算	
後期日程	国語	から 1科目	・100点満点に換算
	地理歴史・公民から1科目(「世界史A」、 「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)		
	理科から1科目又は2科目(「物理」、「化学」、 「地学」、「生物」から1科目、又は「物理基礎」、 「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」 から2科目)		
	外国語(「英語」)	・100点満点に換算	

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和5年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史及び公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、下記の抜いのおりとなります。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	○地理歴史から1科目及び公民から1科目の2科目を受験している場合、当該科目については第1、2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。 ○上記以外 第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
	<理 科②>	第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理 科②>	第1解答科目のみを最高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)

## (2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2次選考対象者のみ書類審査(調査書及び活動報告書)により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
後期日程	面接試験により、地域公共コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。

## (3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

選抜区分	大学入学共通テスト						個別試験	合計	
	試験区分 教科等	国語	地理 歴史	公民	数学	理科			外国語 ※
前期日程 (1次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400点
		配点 400点							
前期日程 (2次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420点
		配点 400点						配点 20点	
後期日程		100	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	400点
		配点 300点						配点 100点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から2科目、[ ] は、1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## (4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、高等学校が作成する書類(調査書)と、志願者本人が作成する書類(活動報告書)の両方によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。(調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。)活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は2次選考対象者のみとします。(活動報告書の提出がない場合、2次選考における書類審査での加点は行いません。)

活動例を以下に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組」  
（例）地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」  
（例）取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」  
（例）皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」  
（例）英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」  
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

P55「地域政策学部各コース共通」へ続く



## 地域づくりコース

- ①一般選抜は、分離分割方式により、前期日程、後期日程に分けて実施します。
- ②前期日程は、まず募集人員のうち10名程度を大学入学共通テストの成績により合否決定します。  
(1次選考)次に残りの合格者として想定する者の2倍程度を対象として、書類審査を加味した総合点により合否決定をします。(2次選考) ※詳細はP55を参照すること。
- ③後期日程は、大学入学共通テストの成績及び個別試験(面接)の成績により評価し、調査書の内容を参照しながら合否を決定します。
- ④なお、後期日程については大学入学共通テスト及び個別試験(面接)のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (1) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

選抜区分	令和5年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考	
前期日程	国語	から 2科目	・100点満点に換算	
	地理歴史から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」)		4教科 4科目 (注1)	・3科目以上受験した場合は、 高得点の2科目を合否判定に利用(注2)
	公民から1科目(「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)			
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、 「生物基礎」から2科目)			
外国語(「英語」)		・100点満点に換算		
後期日程	国語	から 1科目	・100点満点に換算	
	地理歴史・公民から1科目(「世界史A」、 「世界史B」、「日本史A」、「日本史B」、 「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、 「政治・経済」、「倫理、政治・経済」)		3教科 3科目 (注1)	・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)
	数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)			
	理科から1科目又は2科目(「物理」、「化学」、 「地学」、「生物」から1科目、又は「物理基礎」、 「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」から 2科目)			
外国語(「英語」)		・100点満点に換算		

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和5年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、前期日程においては高得点の2科目、後期日程においては最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史及び公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合の科目の選択方法は、下記の抜いのおりとなります。

選抜区分	教科	科目の選択方法
前期日程	<地理歴史及び公民>	○地理歴史から1科目及び公民から1科目の2科目を受験している場合、当該科目については第1、2解答科目に関係なく、両科目を選択対象とします。 ○上記以外 第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
	<理科②>	第1解答科目のみを高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)
後期日程	<地理歴史及び公民> <理科②>	第1解答科目のみを最高得点の1科目の選択対象とします。 (第2解答科目は選択対象としません。)

## (2) 個別試験の実施内容・評価

選抜区分	内容・評価
前期日程	2次選考対象者のみ書類審査(調査書及び活動報告書)により、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価します。
後期日程	面接試験により、地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。

## (3) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

選抜区分	大学入学共通テスト						個別試験	合計	
	試験区分 教科等	国語	地理 歴史	公民	数学	理科			外国語 ※
前期日程 (1次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	-	400点
		配点 400点							
前期日程 (2次選考)		100	{100}	{100}	{100}	{100}	100	書類審査	420点
		配点 400点						配点 20点	
後期日程		100	[100]	[100]	[100]	[100]	100	面接	500点
		配点 300点						配点 200点	

(注) 表中の { } は、同種類の括弧の中から2科目、[ ] は、1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## (4) 書類審査について

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、高等学校が作成する書類(調査書)と、志願者本人が作成する書類(活動報告書)の両方によりアドミッション・ポリシーの観点から評価します。(調査書が存在しない者については、それに替わる証明書や記録等を提出していただきます。)活動成果とともに、活動による具体的な成長プロセスを評価します。

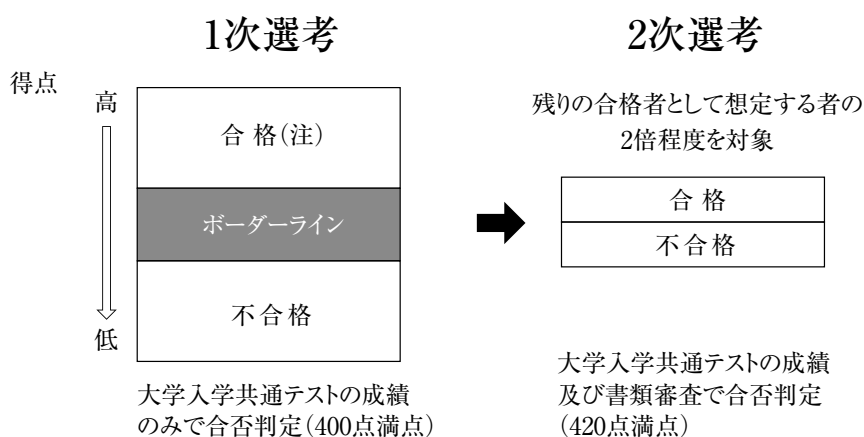
なお、活動報告書の提出は任意であり、採点対象は2次選考対象者のみとします。(活動報告書の提出がない場合、2次選考における書類審査での加点は行いません。)

活動例を以下に示します。

- ・「各教科・科目及び総合的な学習の時間における取組」  
(例) 地域課題発見、フィールドスタディ、教科・科目学習における努力等
- ・「部活動、生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、留学・海外経験等」  
(例) 取り組み内容、大会の結果、役職履歴等
- ・「表彰・顕彰等の記録」  
(例) 皆勤賞、感謝状、特待生等
- ・「取得資格・検定等」  
(例) 英語民間試験、高等学校で学んだ専門分野に係る資格（簿記検定、数学検定）等
- ・「その他」  
アドミッション・ポリシーの観点から評価できるものであれば、活動内容は問いません。

### 地域政策学部・地域政策学科 各コース共通

#### 「1次選考」「2次選考」について



(注)1次選考合格者数

地域経済経営コース 15名程度

地域公共コース 20名程度

地域づくりコース 10名程度

#### 仮に地域経済経営コースにおける最終合格者を計20名と想定する場合

例1. 大学入学共通テストの成績が8位だった者

→大学入学共通テストの成績のみで合格決定(1次選考)

例2. 大学入学共通テストの成績が17位だった者

→残りの合格者として想定する者(20名-15名=5名)の2倍程度(=10名)である、16位~25位の者を2次選考対象として大学入学共通テストの成績及び書類審査で合格を判定

例3. 大学入学共通テストの成績が30位だった者

→大学入学共通テストの成績のみで不合格(1次選考)

#### 4. 出願期間

令和5年1月23日（月）から令和5年2月3日（金）まで  
郵送する場合は、2月3日（金）までの消印有効とします。

#### 5. 個別試験期日

前期日程：実施しない

後期日程：令和5年3月12日（日）又は令和5年3月13日（月）のいずれか1日

#### 6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

前期日程：令和5年3月7日（火）

後期日程：令和5年3月20日（月）

#### 8. 入学手続期間

前期日程：令和5年3月8日（水）から令和5年3月14日（火）まで（締切日必着）

後期日程：令和5年3月21日（火・祝）から令和5年3月27日（月）まで（締切日必着）

#### 9. 追加合格及び2次募集

募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格及び2次募集を行うことがあります。

## 2 学校推薦型選抜（一般推薦）

### 1. 募集人員

地域経済経営コース	10名
地域公共コース	10名

### 2. 出願資格

学校推薦型選抜（一般推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者としします。

- (1) 島根県内の高等学校又は特別支援学校高等部を令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 人物・学業成績とも優秀で、在学学校長が責任をもって推薦できる者
- (3) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (4) 調査書において「全体の学習成績の状況」が、地域経済経営コースにあっては3.8以上、地域公共コースにあっては3.5以上の者

なお、1校あたりの推薦枠数は各コース1名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

### 3. 選抜の方法

#### 地域経済経営コース

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、総合問題及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、総合問題及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 個別試験の実施内容・評価

総合問題	課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める問題により、地域経済経営コースで学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。
個別面接	地域経済経営コースにおいて、主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

#### (3) 試験の配点

試験内容		合計
総合問題	個別面接	
配点 200点	配点 200点	400点

P58 「4. 出願期間」へ続く

## 地域公共コース

### (1) 選抜方法

大学入学共通テスト及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、大学入学共通テスト及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (2) 個別試験の実施内容・評価

個別面接	地域公共コースでの「学び」に対する理解や意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。
------	---

### (3) 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目

令和5年度大学入学共通テストの受験を要する教科・科目		備考
国語	から 1科目	・100点満点に換算
地理歴史・公民から1科目 (「世界史A」、「世界史B」、「日本史A」、 「日本史B」、「地理A」、「地理B」、 「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」、 「倫理、政治・経済」)		・2科目以上受験した場合は、 最高得点の1科目を合否判定に利用(注2)  ・外国語(「英語」)は100点満点に換算
数学から1科目 (「数学I」、「数学I・数学A」、「数学II」、 「数学II・数学B」、「簿記・会計」、 「情報関係基礎」)		
理科から1科目又は2科目 (「物理」、「化学」、「地学」、「生物」から1科目、 又は「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」から2科目)		
外国語(「英語」)		

(注1) 理科における「基礎」を付した科目(「物理基礎」、「化学基礎」、「地学基礎」、「生物基礎」)については、当該科目の2科目の受験で、1科目とみなします。

(注2) 各受験生の令和5年度大学入学共通テストの試験の得点のうち、最高得点の1科目を本学が選択します。

なお、地理歴史・公民並びに理科のうち理科②の試験時間において2科目を受験した場合は、第1解答科目のみを最高得点の1科目として選択対象とします。(第2解答科目は選択対象としません。)

### (4) 大学入学共通テスト・個別試験の配点

大学入学共通テスト					個別試験	合計
国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語 ※	個別面接	
100	[100]	[100]	[100]	[100]	配点 200点	400点
配点 200点						

(注) 表中の [ ] は、同種類の括弧の中から1科目を選択することを表します。

※「英語」について

リーディング(100点満点)とリスニング(100点満点)の合計得点を100点満点に換算した点を用います。

## 4. 出願期間

令和4年11月1日(火)から令和4年11月4日(金)まで(締切日当日消印有効)

## 5. 試験期日

総合問題（地域経済経営コースのみ）令和4年11月19日（土）

個別面接 令和4年11月19日（土）又は令和4年11月20日（日）のいずれか1日

## 6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

## 7. 合格発表

（1）地域経済経営コース

令和4年12月5日（月）

（2）地域公共コース

令和5年2月9日（木）

## 8. 入学手続期間

（1）地域経済経営コース

令和4年12月6日（火）から令和4年12月12日（月）まで（締切日必着）

（2）地域公共コース

令和5年2月10日（金）から令和5年2月16日（木）まで（締切日必着）

## 9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。（地域経済経営コースのみ）

# 3 学校推薦型選抜（連携校推薦）

## 1. 募集人員

地域づくりコース 20名

## 2. 出願資格

学校推薦型選抜（連携校推薦）は、本学が島根県の公立大学として、島根県出身者に高等教育の機会を確保するという役割を果たすために実施するものです。出願資格は、島根県内の高等学校等出身者とし、次の各号をすべて満たす者とし、ます。

（1）島根県内の高等学校又は特別支援学校高等部を令和5年3月卒業見込みの者

（2）人物・学業成績とも優秀で、本学が連携校として指定した在学学校長が責任をもって推薦できる者

（3）地域づくりに関するテーマをもって、本学が実施する夏季講習や中間発表会に参加している者

（4）合格した場合には必ず入学することを確約できる者

（5）調査書において「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者

なお、1校あたりの推薦枠数は2名までとします。この場合、本校、分校はそれぞれ1校として扱い、併設の定時制課程、通信制課程もそれぞれ1校として扱います。

### 3. 選抜の方法

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、プレゼンテーション及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、プレゼンテーション及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 個別試験の実施内容・評価

プレゼンテーション 個別面接	地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として調査書を活用します。
-------------------	--

#### (3) 試験の配点

試験内容		合計
プレゼンテーション	個別面接	
配点 100点	配点 100点	200点

#### 4. 出願期間

令和4年11月1日（火）から令和4年11月4日（金）まで（締切日当日消印有効）

#### 5. 試験期日

令和4年11月19日（土）又は令和4年11月20日（日）のいずれか1日

#### 6. 個別試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

令和4年12月5日（月）

#### 8. 入学手続期間

令和4年12月6日（火）から令和4年12月12日（月）まで（締切日必着）

#### 9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。



## 4 総合型選抜（自己推薦）

### 1. 募集人員

地域経済経営コース	10名
地域づくりコース	10名

### 2. 出願資格

次の各号をすべて満たす者とします。

- (1) 令和3年3月から令和5年3月までに高等学校もしくは中等教育学校の後期課程を卒業した者及び卒業見込みの者、または同期間に通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び修了見込みの者
- (2) 合格した場合には必ず入学することを確約できる者
- (3) 調査書において「全体の学習成績の状況」が3.5以上の者
- (4) 【地域づくりコースのみ】高等学校在学中に、主体的にリーダーシップを持った活動を行ったことがある者。具体的には、高等学校在学中に、生徒会活動や部活動などの学校内の諸活動、または、NPOや高校生起業家などの学外活動において、リーダー又は副リーダーとして継続的に集団をまとめ、活動を牽引した経験がある者。ただし既卒者については、高等学校卒業後の活動も可とします。

### 3. 選抜の方法

#### 地域経済経営コース

##### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、総合問題及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、総合問題及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

##### (2) 個別試験の実施内容・評価

総合問題	課題文や図表等を読み、理解した上で、論理的に思考し、的確に表現することを求める問題により、地域経済経営コースで学修するために必要となる基礎学力、思考力、判断力、表現力が身についているかどうかを評価します。
個別面接	地域経済経営コースにおいて、主体的、協調的な学びが期待できるかどうかを評価します。参考資料として調査書及び志願理由書を活用します。

##### (3) 試験の配点

試験内容		合計
総合問題	個別面接	
配点 200点	配点 200点	400点

「4. 出願期間」へ続く

## 地域づくりコース

### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文、プレゼンテーション及び個別面接と提出された書類により総合的に評価します。

なお、小論文、プレゼンテーション及び個別面接の得点のいずれかの成績が著しく低い場合は、それぞれ総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (2) 試験の実施内容・評価

小論文	基礎学力を評価します。
プレゼンテーション 個別面接	地域づくりコースでの「学び」に対する意欲、自己表現力やコミュニケーション能力などを評価します。参考資料として活動報告書を活用します。

### (3) 試験の配点

試験内容			合計
小論文	プレゼンテーション	個別面接	
配点 100点	配点 100点	配点 100点	300点

## 4. 出願期間

令和4年9月26日（月）から令和4年9月29日（木）まで（締切日当日消印有効）

## 5. 試験期日

総合問題・小論文 令和4年10月15日（土）

個別面接 令和4年10月15日（土）又は令和4年10月16日（日）のいずれか1日

## 6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

## 7. 合格発表

令和4年11月1日（火）

## 8. 入学手続期間

令和4年11月2日（水）から令和4年11月8日（火）まで（締切日必着）

## 9. 入学前教育

他の入学者選抜に比べ合格が早期に決まるため、入学までの学習準備について助言したり、課題学習を求めたりする場合があります。

## 【国際関係学部・地域政策学部】 共通事項

島根県立大学国際関係学部国際関係学科及び地域政策学部地域政策学科が実施する  
特別選抜における「選抜の基本方針」

### 選抜の基本方針

#### ■社会人特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

#### ■帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文と面接の評価を総合して行います。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

#### ■私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、小論文及び面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、基礎的な日本語能力及び基礎学力を評価します。小論文では、国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。面接では、コースごとに、当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。

### 各選抜方法における求める力（評価する力）

【◎：特に重視する   ○：重視する】

#### ①社会人特別選抜、帰国生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

#### ②私費外国人留学生特別選抜

選抜方法	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性を持って多様な人々と 協働して学ぶ態度
日本留学試験	◎		
小論文	○	◎	
面接	○	○	◎

# 1 社会人特別選抜

## 1. 募集人員

各コース 若干名

## 2. 出願資格

令和5年3月31日までに社会人としての経験を5年以上有する者で、23歳以上に達するものであって、次の各号のいずれかに該当する者とします。この場合、定時制、夜間、通信制以外の学校の在学期間は社会人の経験期間に含めません。

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※なお、学校教育法施行規則第150条第7号の規定による出願については、事前に入学資格の審査を行います。

令和4年9月30日（金）（必着）までに、入学資格認定申請書を提出してください。

## 3. 選抜方法

### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

### (2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	着 眼 点	配点	合計
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100点	200点
個別面接	当該コースでの「学び」に必要となる基本的な知識のほか、主体的に学ぶとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100点	

4. 出願期間 令和4年11月1日（火）から令和4年11月4日（金）まで（締切日当日消印有効）

5. 試験期日 令和4年11月19日（土）

6. 試験会場 鳥根県立大学浜田キャンパス（鳥根県浜田市野原町2433-2）

7. 合格発表 令和4年12月5日（月）

8. 入学手続期間 令和4年12月6日（火）から令和4年12月12日（月）まで（締切日必着）

## 2 帰国生特別選抜

### 1. 募集人員

各コース 若干名

### 2. 出願資格

日本国籍を有する者、日本国の永住許可を得ている者、またはその他これらに準ずる者で、保護者の海外勤務等によりやむを得ず外国の学校教育を受けているものであって、かつ、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を令和3年4月1日から令和5年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者
  - (2) 外国の教育制度に基づく教育機関において、2年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を中途退学し、引き続き日本の高等学校等の第3学年に編入学を認められた者で、令和5年3月卒業（修了）見込みの者
  - (3) 外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレアの資格証書を令和3年又は令和4年に授与された者
  - (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を令和3年又は令和4年に授与された者
  - (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を令和3年又は令和4年に授与された者
  - (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者
- (注) (1) 及び (2) において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した場合、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。

### 3. 選抜方法

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	着 眼 点	配 点	合 計
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100点	200点
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100点	

#### 4. 出願期間

令和4年11月1日（火）から令和4年11月4日（金）まで（締切日当日消印有効）

#### 5. 試験期日

令和4年11月19日（土）

#### 6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

令和4年12月5日（月）

#### 8. 入学手続期間

令和4年12月6日（火）から令和4年12月12日（月）まで（締切日必着）

## 3 私費外国人留学生特別選抜

#### 1. 募集人員

各コース 若干名

#### 2. 出願資格

日本国籍を有しない者であって、次の各号のすべてに該当する者とします。

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「2022年日本留学試験」の第1回(6月実施分)において、次の指定科目を受験した者、または、第2回(11月実施分)に出願し、次の指定科目を受験する者

<出題言語> 日本語とする。

<受験指定科目> ア 日本語（記述を含む）  
イ 総合科目  
ウ 数学（「コース1」とする。）

- (2) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、又は本学入学により有することとなる者

- (3) 次のいずれかに該当する者

- ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和5年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ②外国において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を授与された者
- ③ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格の取得者に授与される一般的大学入学資格証明書を授与された者
- ④フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格の取得者に授与されるバカロレア資格証書を授与された者

- ⑤グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル（GCE Aレベル）資格を取得した者

### 3. 選抜方法

#### (1) 選抜方法

大学入学共通テストを課さず、日本留学試験、小論文試験、個別面接により総合的に評価し、合否を決定します。

なお、日本留学試験、小論文試験及び個別面接のいずれかの成績が著しく低い場合は、総合点での順位に関わらず合否を判定することがあります。

#### (2) 試験の実施内容及び配点

試験の内容	指定科目又は着眼点	配点	合計
日本留学試験	日本語	50点	300点
	総合科目	30点	
	数学(コース1とする。)	20点	
小論文	国際関係学部及び地域政策学部の各コースで学ぶために共通して必要となる国語力・英語力や、思考力・表現力を総合的に評価します。	100点	
個別面接	当該コースでの「学び」に必要な基本的な知識のほか、主体的に学ぼうとする意欲、自己表現力など、当該コースで学ぶ上での適性を評価します。	100点	

#### 4. 出願手続

令和4年11月1日（火）から令和4年11月4日（金）まで（締切日当日消印有効）

#### 5. 試験期日

令和4年11月19日（土）

#### 6. 試験会場

島根県立大学浜田キャンパス（島根県浜田市野原町 2433-2）

#### 7. 合格発表

令和5年1月19日（木）

#### 8. 入学手続期間

令和5年1月20日（金）から令和5年3月10日（金）まで（締切日必着）

## 障がい等のある入試志願者の事前相談

身体に障がいがあり、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、出願前にあらかじめ本学学務課アドミッション室と協議してください。

### ア) 協議の方法

本学が指定する協議書に、医師の診断書または身体障害者手帳の写しを添付して提出してください。

### イ) 協議書の提出期限（締切日必着）

総合型選抜	令和4年 9月16日（金）
学校推薦型選抜	令和4年 10月21日（金）
一般選抜	令和5年 1月20日（金）

ウ) 必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁し得る出身高等学校等関係者との面談等を行います。

<連絡先・協議先>

〒697-0016

島根県浜田市野原町 2433-2

島根県立大学浜田キャンパス 学務課アドミッション室

(TEL) 0855-24-2203



## 試験日に関わる注意事項

地震や台風等の不測の事態が発生し、試験の実施が困難であると本学が判断した場合は、試験日を以下の日程に延期します。延期する場合は、本学公式ホームページで告知しますので、適宜確認するようにしてください。延期日に受験しなかった場合は欠席とみなし、入学検定料は返還しません。

### 1. 試験期日

総合型選抜	令和4年10月29日(土)・10月30日(日)
学校推薦型選抜	令和4年11月26日(土)・11月27日(日)
特別選抜	令和4年11月26日(土)

### 2. 合格発表

総合型選抜	令和4年11月14日(月)
学校推薦型選抜(地域公共コースを除く)	令和4年12月12日(月)
学校推薦型選抜(地域公共コース)	変更なし
特別選抜(社会人・帰国生)	令和4年12月12日(月)
特別選抜(私費外国人留学生)	変更なし

### 3. 入学手続期間

総合型選抜	令和4年11月15日(火)から令和4年11月21日(月)まで(締切日必着)
学校推薦型選抜(地域公共コースを除く)及び特別選抜(社会人・帰国生)	令和4年12月13日(火)から令和4年12月19日(月)まで(締切日必着)